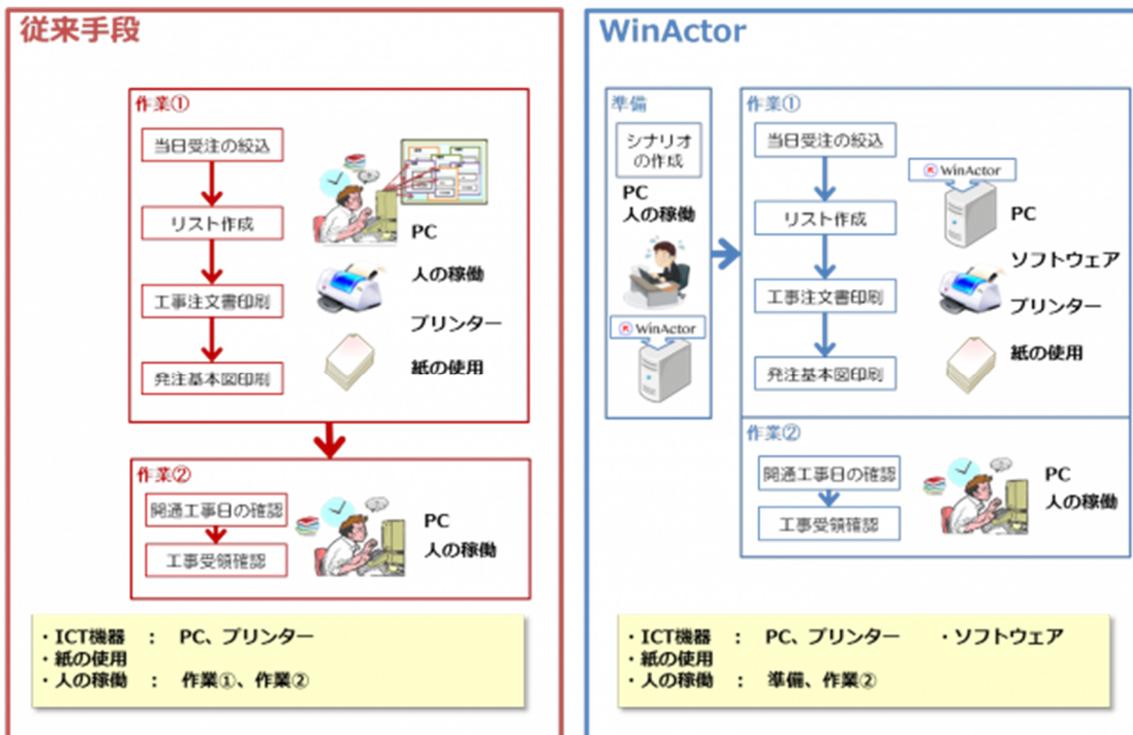


Type II 環境ラベル「AT-ECO」対象商品 WinActor

モデルと評価

モデル

- 従来手段：設計指示業務(作業①、作業②)をすべて人手で実施する。作業②は作業①が完了した後実施する。
- WinActor:設計指示業務(作業①、作業②)のうちの作業①を WinActor で自動化する。作成したシナリオは同種の作業で 2 年間繰り返し使用される。作業①と作業②は、並行して実施する。



評価条件

- ◆通信線路工事の設計指示業務を年間 6000 件(20 件/日×25 日/月×12 か月/年)実施すること。

◆システム境界

- ・従来手段:ICT 機器(業務用 PC、プリンター)、人の稼働(設計指示作業)、紙の利用
 - ・WinActor:ICT 機器(業務用 PC、プリンター)、ソフトウェア(WinActor)、人の稼働(シナリオ作成作業、設計指示作業)、紙の利用
- (※)評価対象とする「設計指示業務」は、受領済みの工事オーダーに対して、「当日受注の絞込み」～「工事受領確認」までを行う作業とする。

評価結果



- ・グラフは、従来手段の CO2 排出量を 100%として、割合を表しています。